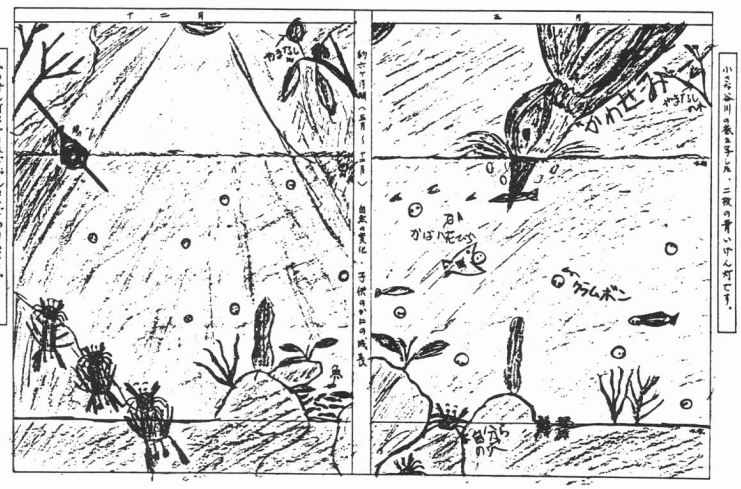
の記録　　（抽出児　E子の場合）

6	7	8	9	10	11
読解（「十二月」後半）	「五月」と「十二月」のスケッチ	スケッチの情景を読みとる	主　題　把　握	情景がわかる朗読	まとめの感想文を書く
	情景を説明できるスケッチの作成	OHP（2台）使用		一斉・班別朗読	
12月の後半のやまなしを追いかけるところで，わたしがかにだったら，そこですぐ食べてしまいます。	今日，「5月」と「12月」の絵をかいた。前の時よりは，時間もたくさんあってよくかけてうれしかった。	授業でOHPを使ったので，とても楽しくできた。	みやざわけんじという人は，様子をあらわすことばをつかって，平和で楽しいことをあらわしていると思う。平和であってもらいたいと願っているみたい。	やまなしの朗読をしていると，なぜか，本の中にひきずれこまれそうな気がします。なんだか，読んでいるととっても楽しい。	感想文になにを書こうかまよったけど，思ったことを書きました。宮沢賢治のほかのきれいな作品を読みたいと思いました。

（読解後の情景のスケッチ）



学習終了後の感想文（第十一時限目）

◆◆ 感想文 -「やまなし」を読んで- ◆◆

六年二組（40）番　氏名（E子）

最初この本を読んだとき、なにがなんだかよくわからなかったけど、何度もくりかえし読むと、だんだんみがわかってきて、この作品を書いた、宮沢賢治は、まめりのようすを、きれいに書きあらわすし人だとおもいます。よく川底の景色を、見ていないのにわかったのか、ふしぎにおもいます。あとこの作品には、作者がかんがえた言葉（クラムボン、イサバ）などがはいっているので、作者がいろいろくふうした作品だとおもいます。なんでこの作品の題名を「やまなし」にしたのかふしぎでしたが、読んだり、先生の話を聞いているうちに、五月の、カニミが出てくるところよりも十二月の、やまなしを、かにの親子が、おいかけているほうが、よかったから、私は「やまなし」という題名にしたのだと思います。あと作者は、やまなしがすきだったのではないかとおもいます。だけどなんて、しぶいやまなしがすきだったかもしりたいです。

お父さんがにが、じゃくしたやまなしが二日たっと、おいしいお酒になるといったのて私も、やまなしを、水の入ったコップの中にいれて、2・3日、まって、ほんとうに、おいしいお酒ができるかやってみたいです。このへんの川はきたなくて、かにはいないけど、上流へいってかにを見てみたいです。ほんとうに、水の中がそんなにきれいなら、水の中にもぐって、まわりの様子を見てみたいです。